

段ボールコンポストの準備と使い方

<材料>

- ・段ボール箱 (35cm × 40cm × 35cm くらい)
(底面は 2 重にしてください)
- ・ガムテープ (補強用)
- ・段ボールを置く通気性の良い台 (苗トレー、スノコなど)
- ・虫よけの布 (段ボールの上面の倍程度の大きさ)、平ゴム
- ・基材 (落ち葉堆肥、園芸用土など)
- ・スコップ



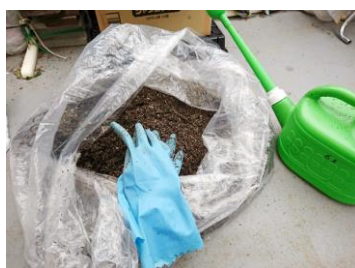
* 米ぬかを加えると発酵が進みやすくなります。頻度は問いません。
加える時は、生ごみや土にまぶす(ダマにならない)ように混ぜ込んでください。

★ 準備 ★

- ① ガムテープで箱を補強します。



- ② 袋やシートの上で基材を混ぜ、水分を足します。
(土を握り、開くとほろほろと崩れる程度の水分)



- ③ 箱の 6 分目くらいまで土を入れます。ここに、生ごみを投入していきます。



- ④ 通気性のある台に置き、
(雨のかからない風通しのよい所) 布をかけて、輪にした平ゴムで固定します。



★ 使い方 ★

1 日 1 回、生ごみ (300g 程度まで) を入れます。
少し掘ったところに投入し、土としっかり混ぜ合わせてから、土で覆います。(生ごみは見えない様に)
これを毎日繰り返します。

⇒ 余っていた苗トレーを上にかけたら、さらに虫が減りました。



▲ 3 月開始コンポストの 8 月の状態

● 堆肥の楽しみ方

- ・使いたい時期の 1 か月以上前に、生ごみの投入をストップし、時々かき混ぜて空気を含ませ熟成させます。
- ・発酵が不完全なものは、植物の成長を阻害することがあります。発酵・熟成にかかる期間は、投入する生ごみの種類、その細かさ、気温、米ぬか等の投入量、自然のバランスによります。
- ・基材の半分程度をガーデニングに活用し、残りの基材とその他の土で、生ごみコンポストを続けてください。
- ・落ち葉を堆肥化したものを基材にすると、お庭の落ち葉も併せて活用 (処理) できます！

● ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

● お問い合わせ先 ●

京都市ごみ減量推進会議

(公益財団法人京都市環境保全活動推進協会)



TEL 075-647-3444 (木・日・祝定休) FAX 075-641-2971

E-MAIL sanka@kyoto-gomigen.jp HP <http://kyoto-gomigen.jp>



アンケートに答えて、
ステンレスボトル
get !

この印刷物が不要になれば、雑がみとして古紙回収へ